

2023 年度第 8 回通常理事会議事報告

会長 岩村道子

日時 2024 年 1 月 14 日（日）10:30~13:00

場所 本部事務所会議室

出席 理事 11 名 監事 1 名

欠席 理事 3 名

1. 2023年度委員会・支部の事業報告・決算報告の提出について、記載形式、提出期限などについての説明があった。支部長、委員長宛ての依頼書に明記してある提出期限と書式の厳守をお願いしたいとの要望があった。（市川知恵子総務担当副会長、牧島悠美子総務担当理事）
2. 6 月 2 日アルカディア市ヶ谷で開催する守田科学研究奨励賞授賞式では、第 1 回若手女性科学者海外研修事業の派遣者の報告も行う。そのために開始時刻を午前 11 時からに繰り上げることが提案され承認した。なお、守田科学研究奨励賞の受賞講演および若手女性科学者海外研修事業派遣者の報告は Zoom 配信の予定である。（秋光正子奨学事業担当理事）
3. 1 月 13 日に開催した「新春のつどい」の国内奨学金贈呈式には、社会福祉奨学生が介助者の付き添いで出席した。このような場合、介助者の交通費も支給することが社会福祉委員会から提案され承認した。
なお、JR の現行規則では、第 1 種障害者、第 2 種障害者とその介護者の普通乗車券及び普通急行券が半額となっており、遠距離移動には特急利用が一般的な現状と著しく齟齬がある。今後 JR に対して申し入れをするとともに、他にも働きかけをしてはどうかという意見が出て、承認された。（秋光正子奨学事業担当理事）
4. 国内奨学金応募資格は大学院生の場合「大学院在籍 1 年以上」と決められている。しかし、近年 1 年制修士課程コースを設ける大学が増加しているので、応募資格を「大学院に在籍する者」と変更することが提案され承認した。今後、国内奨学金規定と応募要項の一部を変更することになる。（秋光正子奨学事業担当理事）
5. 国際ネットワーク委員会からの以下の提案を承認した。（穂田信子国際ネットワーク・CIR 担当理事代理）
 - ①3 月 11 日～22 日まで米国ニューヨークで開催の CSW68 出席の若手派遣者を支援する引率を、前半：3/10-15 藤川眞理子会員（東京支部）、後半：3/18-22 木口京子会員（岡山支部）に依頼し、各人に 2.5 万円を支給する。（承認）
 - ②3月1日～2日にインドの大学都市プネでアジア大学女性連盟主催で開催される「持続可能な未来のために協働する（仮訳）」会議でパネリストなどを務める鈴木千鶴子国際ネットワーク委員長に、GWI関連会議出席の際のCIRへの補助と同額の5万円を支給する。
6. 能登半島地震災害に関しての以下の提案を意見交換ののち承認した。
 - ①義援金募金を支部長 ML、委員長 ML を通して全会員に呼び掛ける。募金期間は 2 月 29 日までとして、その時点で JAUW にふさわしい教育支援などができる寄付先をきめることにする。なお、新春のつどい会場での募金では 10 万円を集めることができた。（岩村道子会長）
 - ②地震の被災地の自治体に対して、暴行・性暴力に対する注意喚起の緊急のお願いをファックスで送ることになった。（山下いづみ支部担当理事）

7. 会員異動（市川知恵子総務担当副会長）

入会者 2 名、退会者 1 名、逝去者 1 名 在籍者 605 名（1 月 11 日現在）

・次回通常理事会は、2024 年 2 月 17 日（土）に開催する。 (以上)